

平成26年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 26年6月 ～ 26年8月)

1. 被験物質

(1) 一般名・剤型

- ①マンゼブ(ジマンダイセン)水和剤
- ②ジフルベンズロン(デミリン)水和剤
- ③フルバリネート(マブリック)水和剤20
- ④ヘキシチアゾクス(ニッソラン)水和剤
- ⑤プロシミドン(スミレックス)水和剤
- ⑥シロマジン(トリガード)液剤
- ⑦BPMC(バッサ)乳剤
- ⑧1-ナフタレン酢酸ナトリウム(アークランド)液剤
- ⑨DMTP(スプラサイド)水和剤
- ⑩PAP(エルサン)乳剤
- ⑪アセタミプリド(モスピラン)顆粒水溶剤
- ⑫MEP(スミチオン)乳剤
- ⑬クロチアニジン(ダントツ)水溶剤
- ⑭ベルメトリン(アディオオン)乳剤
- ⑮イミノクタジン酢酸塩(ポリベリン)水和剤

(2) 有効成分名及び成分含有率

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ①マンゼブ | 80% |
| ②ジフルベンズロン | 23.5% |
| ③フルバリネート | 20% |
| ④ヘキシチアゾクス | 10% |
| ⑤プロシミドン | 50% |
| ⑥シロマジン | 8.7% |
| ⑦BPMC | 50% |
| ⑧1-ナフタレン酢酸ナトリウム | 0.2% |
| ⑨DMTP | 36% |
| ⑩PAP | 50% |
| ⑪アセタミプリド | 20% |
| ⑫MEP | 50% |
| ⑬クロチアニジン | 16% |
| ⑭ベルメトリン | 20% |
| ⑮イミノクタジン酢酸塩 | 5%、ポリオキシシン複合体 15% |

(3) 被験物質のLot No.

- | | | |
|----------------|------------------|--------------|
| ①17.10 S3F12 | ②18-10 05001 | ③16.10 D3B01 |
| ④16.10 SBL-02G | ⑤17.10-HA317 | ⑥18.10 3X18N |
| ⑦17.10 4225N | ⑧16.10 88012 | ⑨16.10 N4D04 |
| ⑩17.10 HCB001 | ⑪17.10 HCJ-013SN | ⑫18.10 3Z26N |
| ⑬18.10 EJA059 | ⑭18.10 3920N | ⑮17.10 D4E02 |

2. 農作物名

メロン

品種名

クインシー

3. 試験実施機関名

一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所

試験圃場所在地

茨城県牛久市結束町5-3-5番地

4. 試験責任者氏名

森田久孝, 皆川保雄, 森田恭充, 増尾重治, 橋本龍治, 柑本俊樹, 川北充彦

後藤直人, 丸山直哉, 有波友紀

5. 土性

砂土・砂壤土・壤土・埴壤土・埴土 (○を付す)

減水深

—

cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙1および別紙2に記載

7. 栽培概要

播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等

被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗、トンネル栽培の被覆時期を記載す

露地・施設の別

施設(ガラスハウス)

有袋・無袋の別

—

播種:平成26年4月8日、定植:5月1日、立体栽培(心止め)

栽植密度:畝間180cm、株間50cm、条間50cm、2条植え(マルチ被覆)、2222株/10a、

施肥(10a当たり):

各区共通:平成26年4月18日堆肥 2000kg、菜っとか有機(10-7-5) 50kg・過石(0-17.5-0) 57kg、

硫加(0-0-50) 10kg、6月23日くみあい尿素複合液肥 400倍

その他の管理は、慣行に従った。

収穫適期(適期):7月下旬

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

5月13日タコニール1000 1000倍・アトマイヤー顆粒水和剤10000倍

5月27日TPN53%フロアブル1500倍・チェス顆粒水和剤5000倍・ロフテール水和剤1000倍

6月4日アファーム乳剤2000倍・タコニール1000 1000倍・モレスタン水和剤3000倍

6月13日モレスタン水和剤3000倍・タコニール1000 1000倍・コロマイト乳剤1000倍

7月1日モレスタン水和剤3000倍・タコニール1000 1000倍・アファーム乳剤1000倍

7月9日アトマイヤー水和剤2000倍・アファーム乳剤2000倍・モレスタン水和剤3000倍

10. 試験区

(1) 試験区の面積および(株)数

処理区A:27.0㎡(7.5m×1.8m×2畝) 60株、処理区B:14.4㎡(4.0m×1.8m×2畝) 32株

処理区C:27.0㎡(7.5m×1.8m×2畝) 60株、処理区D:27.0㎡(7.5m×1.8m×2畝) 60株

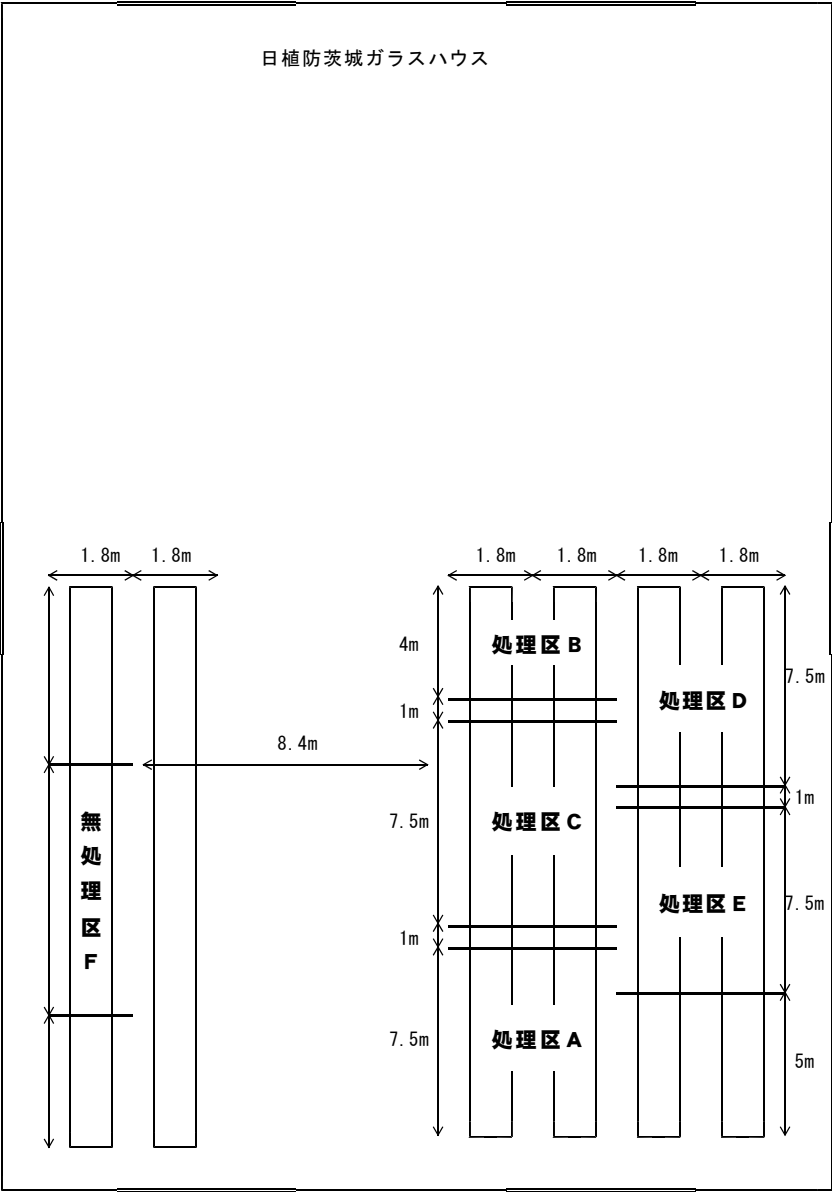
処理区E:27.0㎡(7.5m×1.8m×2畝) 60株、無処理区F:18.0㎡(10m×1.8m×1畝) 40株

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ

各区共通 面積:874㎡、高さ:4.5m、容積:2840.5㎡

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としてもかまいません)

- ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
- イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。
- ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）	
								1 0 a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）	実際に秤量した農薬量/薬液量			
H26年6月23日	ジマンダイセン						無処理	400倍	256L	17.25g/6.9L/27.0㎡	22.50g/9L	果実肥大期 （草丈約1.8m）	茎 葉 散 布
6月30日	ジマンダイセン							400倍	293L	19.75g/7.9L/27.0㎡	22.50g/9L	果実肥大期 （草丈約1.8m）	茎 葉 散 布
7月 7日	ジマンダイセン							400倍	293L	19.75g/7.9L/27.0㎡	22.50g/9L	果実肥大期 （草丈約1.8m）	茎葉散布（混用）
	デミリン							1500倍		5.27g/7.9L/27.0㎡	6.00g/9L		
7月 14日	ジマンダイセン							400倍	293L	19.75g/7.9L/27.0㎡	22.50g/9L	成熟期 （草丈約1.8m）	茎葉散布（混用）
	デミリン							1500倍		5.27g/7.9L/27.0㎡	6.00g/9L		
	マブリック							2000倍		3.95g/7.9L/27.0㎡	4.50g/9L		
	ニッソラン							2000倍		3.95g/7.9L/27.0㎡	4.50g/9L		
7月21日	ジマンダイセン							400倍	293L	19.75g/7.9L/27.0㎡	22.50g/9L	収穫初期 （草丈約1.8m）	茎葉散布（混用）
	デミリン							1500倍		5.27g/7.9L/27.0㎡	6.00g/9L		
	マブリック							2000倍		3.95g/7.9L/27.0㎡	4.50g/9L		
	ニッソラン							2000倍		3.95g/7.9L/27.0㎡	4.50g/9L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
				特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H26年6月23日	散布機器：背負式バッテリー（丸山 MSB111-A） ノズル：縦型2頭口コーンノズル（麻場CPW-21.0） 散布方法：1株毎に、一定の時間で全体へ均一に散布した。			時刻 16：00 ～ 16：47	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
6月30日				時刻 16：10 ～ 16：18	天候：曇り（日中晴れ時々曇り）、風の影響なし。
7月 7日				時刻 13：50 ～ 13：58	天候：雨（雨のち曇り）、風の影響なし。
7月14日				時刻 15：45 ～ 15：53	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
7月21日				時刻 15：00 ～ 15：08	天候：晴れ（日中曇りのち晴れ）、風の影響なし。

- (1) 展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量
- (2) 備考

試験薬剤の散布時には、試験区間を、高さ約2.3mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回、薬液を多めに作成して散布した。なお、7月7日は2剤、7月14日と7月21日は、それぞれ4剤を混用して薬液を作成した。

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
								1 O a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H26年6月16日		ジマンダイセン				無処理	400倍	257L	9.25g/3.7L/14.4㎡	15.00g/6L	果実肥大期 （草丈約1.8m）	茎 葉 散 布
6月23日		ジマンダイセン					400倍	257L	9.25g/3.7L/14.4㎡	15.00g/6L	果実肥大期 （草丈約1.8m）	茎 葉 散 布
6月30日		ジマンダイセン					400倍	292L	10.50g/4.2L/14.4㎡	15.00g/6L	果実肥大期 （草丈約1.8m）	茎葉散布（混用）
		デミリン					1500倍		2.80g/4.2L/14.4㎡	4.00g/6L		
7月 7日		ジマンダイセン					400倍	292L	10.50g/4.2L/14.4㎡	15.00g/6L	果実肥大期 （草丈約1.8m）	茎葉散布（混用）
		デミリン					1500倍		2.80g/4.2L/14.4㎡	4.00g/6L		
7月14日		ジマンダイセン					400倍	292L	10.50g/4.2L/14.4㎡	15.00g/6L	成熟期 （草丈約1.8m）	茎葉散布（混用）
		デミリン					1500倍		2.80g/4.2L/14.4㎡	4.0g/6L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
				時刻	天候
H26年6月16日	散布機器：背負式バッテリー（丸山 MSB111-A） ノズル：縦型2頭口コーンノズル（麻場CPW-21.0） 散布方法：1株毎に、一定の時間で全体へ均一に散布した。			時刻 9：30 ～ 9：34	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
6月23日				時刻 16：15 ～ 16：19	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
6月30日				時刻 16：35 ～ 16：40	天候：曇り（日中晴れ時々曇り）、風の影響なし。
7月 7日				時刻 14：00 ～ 14：05	天候：雨（日中雨のち曇り）、風の影響なし。
7月14日				時刻 15：10 ～ 15：15	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。

（1）展着剤 使用せず 使用した区番号 展着剤名 濃度または量

（2）備考 試験薬剤の散布時には、試験区間を高さ約2.3mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回、薬液を多めに作成して散布した。なお、6月30日、7月7日および7月14日は、それぞれ2剤を混用して薬液を作成した。

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
								1 O a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H26年6月30日			バッサ			無処理	1500倍	293L	5.3ml/7.9L/27.0㎡	6.0ml/9L	果実肥大期 (草丈約1.8m)	茎 葉 散 布
7月 7日			スマレックス				2000倍	293L	3.95g /7.9L/27.0㎡	4.50g/9L	果実肥大期 (草丈約1.8m)	茎葉散布（混用）
			トリガード				1000倍		7.9ml/7.9L/27.0㎡	9.0ml/9L		
			バッサ				1500倍		5.3ml/7.9L/27.0㎡	6.0ml/9L		
7月14日			スマレックス				2000倍	293L	3.95g /7.9L/27.0㎡	4.50g/9L	成熟期 (草丈約1.8m)	茎葉散布（混用）
			トリガード				1000倍		7.9ml/7.9L/27.0㎡	9.0ml/9L		
			バッサ				1500倍		5.3ml/7.9L/27.0㎡	6.0ml/9L		
7月21日			スマレックス				2000倍	293L	3.95g /7.9L/27.0㎡	4.50g/9L	収穫初期 (草丈約1.8m)	茎葉散布（混用）
			トリガード				1000倍		7.9ml/7.9L/27.0㎡	9.0ml/9L		
			バッサ				1500倍		5.3ml/7.9L/27.0㎡	6.0ml/9L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H26年6月30日	散布機器：背負式バッテリー（丸山 MSB111-A） ノズル：縦型2頭口コーンノズル（麻場CPW-21.0） 散布方法：1株毎に、一定の時間で全体へ均一に散布した。	時刻 15：40 ～ 15：48	天候：晴れ（日中晴れ時々曇り）、風の影響なし。
7月 7日		時刻 13：50 ～ 13：58	天候：雨（日中雨のち曇り）、風の影響なし。
7月14日		時刻 15：50 ～ 15：58	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
7月21日		時刻 13：45 ～ 13：53	天候：晴れ（日中曇りのち晴れ）、風の影響なし。

- (1) 展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量
- (2) 備考

試験薬剤の散布時には、試験区間を高さ約2.3mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回、薬液を多めに作成して散布した。なお、7月7日、7月14日および7月21日は、それぞれ3剤を混用して薬液を作成した。

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
								1 O a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H26年6月30日				エルサン		無処理	1000倍	293L	7.9ml/7.9L/27.0㎡	9.0ml/9.0L	果実肥大期 （草丈約1.8m）	茎 葉 散 布
7月 7日				エルサン			1000倍	293L	7.9ml/7.9L/27.0㎡	9.6ml/9.6L	果実肥大期 （草丈約1.8m）	茎葉散布（混用）
				モスピラン			8000倍		0.99g/7.9L/27.0㎡	1.20g/9.6L		
7月14日				アークランド			1000倍	293L	7.9ml/7.9L/27.0㎡	9.6ml/9.6L	成熟期 （草丈約1.8m）	茎葉散布（混用）
				スプラサイド			1000倍		7.90g/7.9L/27.0㎡	9.60g/9.6L		
				エルサン			1000倍		7.9ml/7.9L/27.0㎡	9.6ml/9.6L		
				モスピラン			8000倍		0.99g/7.9L/27.0㎡	1.20g/9.6L		
7月21日				アークランド			1000倍	293L	7.9ml/7.9L/27.0㎡	9.6ml/9.6L	収穫初期 （草丈約1.8m）	茎葉散布（混用）
				スプラサイド			1000倍		7.90g/7.9L/27.0㎡	9.60g/9.6L		
				エルサン			1000倍		7.9ml/7.9L/27.0㎡	9.6ml/9.6L		
				モスピラン			8000倍		0.99g/7.9L/27.0㎡	1.20g/9.6L		

果実成熟期 茎葉散布（混用）

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌湿和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
				時刻	天候
H26年6月30日	散布機器：背負式バッテリー（丸山 MSB111-A） ノズル：縦型2頭口コーンノズル（麻場CPW-21.0） 散布方法：1株毎に、一定の時間で全体へ均一に散布した。			時刻 16：25 ～ 16：33	天候：晴れ（日中晴れ時々曇り）、風の影響なし。
7月 7日				時刻 14：20 ～ 14：28	天候：雨（日中雨のち曇り）、風の影響なし。
7月14日				時刻 16：20 ～ 16：28	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
7月21日				時刻 15：10 ～ 15：18	天候：晴れ（日中曇りのち晴れ）、風の影響なし。

- (1) 展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量
- (2) 備考

試験薬剤の散布時には、試験区間を高さ約2.3mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回、薬液を多めに作成して散布した。なお、7月7日は2剤、7月14日および7月21日は4剤を、それぞれ混用して薬液を作成した。

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
								1 O a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H26年6月23日					スミチオン	無処理	1000倍	256L	6.9m/6.9L/27.0㎡	9.0ml/9.0L	果実肥大期 （草丈約1.8m）	茎葉散布（混用）
					アディオン		2000倍		3.5ml/6.9L/27.0㎡	4.5ml/9.0L		
					ポリベリン		1500倍		4.60g/6.9L/27.0㎡	6.00g/9.0L		
6月30日					スミチオン		1000倍	293L	7.9ml/7.9L/27.0㎡	9.0ml/9.0L	果実肥大期 （草丈約1.8m）	茎葉散布（混用）
					アディオン		2000倍		4.0ml/7.9L/27.0㎡	4.5ml/9.0L		
					ポリベリン		1500倍		5.27g/7.9L/27.0㎡	6.00g/9.0L		
7月 7日					スミチオン		1000倍	293L	7.9ml/7.9L/27.0㎡	9.0ml/9.0L	果実肥大期 （草丈約1.8m）	茎葉散布（混用）
					ダントツ		2000倍		3.95g/7.9L/27.0㎡	4.50g/9.0L		
					アディオン		2000倍		4.0ml/7.9L/27.0㎡	4.5ml/9.0L		
					ポリベリン		1500倍		5.27g/7.9L/27.0㎡	6.00g/9.0L		
7月14日					スミチオン		1000倍	293L	7.9ml/7.9L/27.0㎡	9.0ml/9.0L	成熟期 （草丈約1.8m）	茎葉散布（混用）
					ダントツ		2000倍		3.95g/7.9L/27.0㎡	4.50g/9.0L		
					アディオン		2000倍		4.0ml/7.9L/27.0㎡	4.5ml/9.0L		
					ポリベリン		1500倍		5.27g/7.9L/27.0㎡	6.00g/9.0L		
7月21日					スミチオン		1000倍	293L	7.9ml/7.9L/27.0㎡	9.0ml/9.0L	収穫初期 （草丈約1.8m）	茎葉散布（混用）
					ダントツ		2000倍		3.95g/7.9L/27.0㎡	4.50g/9.0L		
					アディオン		2000倍		4.0ml/7.9L/27.0㎡	4.5ml/9.0L		
					ポリベリン		1500倍		5.27g/7.9L/27.0㎡	6.00g9.0L		

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌湿和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
			特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H26年6月23日	散布機器：背負式バッテリー（丸山 MSB111-A） ノズル ：縦型2頭口コーンノズル（麻場CPW-21.0） 散布方法：1株毎に、一定の時間で全体へ均一に散布した。		時刻 17：10 ～ 17：17	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
6月30日			時刻 17：15 ～ 17：23	天候：曇り（日中晴れ時々曇り）、風の影響なし。
7月 7日			時刻 14：50 ～ 14：58	天候：雨（日中雨のち曇り）、風の影響なし。
7月14日			時刻 16：30 ～ 16：38	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
7月21日			時刻 14：15 ～ 14：23	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。

- （1）展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量
- （2）備考

試験薬剤の散布時には、試験区間を高さ約2.3mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回、薬液を多めに作成して散布した。なお、6月23日および6月30日は3剤、7月7日、7月14日および7月21日は4剤を、それぞれ混用して薬液を作成した。

区 分 採取月日	A 区 試料番号	B 区 試料番号	C 区 試料番号	D 区 試料番号	E 区 試料番号	F 区 試料番号	G 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H26.7月18日						F (無処理)		F区 時刻: 7:50 ~ 7:55 天候: 曇り	F	F : 15個 / 27.7 kg	7月18日
7月22日			C-1		E-1			C区 時刻: 8:17 ~ 8:21 天候: 晴れ E区 時刻: 8:37 ~ 8:40 天候: 晴れ	C→E	C-1 : 5個 / 9.9 kg E-1 : 5個 / 9.7 kg	7月22日
7月24日	A-1		C-2	D-1	E-2			A区 時刻: 7:22 ~ 7:26 天候: 曇り C区 時刻: 8:59 ~ 9:03 天候: 曇り D区 時刻: 9:11 ~ 9:14 天候: 曇り E区 時刻: 9:19 ~ 9:22 天候: 曇り	A→C→D→E	A-1 : 5個 / 9.8 kg C-2 : 5個 / 10.1 kg D-1 : 5個 / 10.8 kg E-2 : 5個 / 10.3 kg	7月24日
7月28日	A-2		C-3	D-2	E-3			A区 時刻: 7:30 ~ 7:33 天候: 晴れ C区 時刻: 8:20 ~ 8:23 天候: 晴れ D区 時刻: 8:30 ~ 8:33 天候: 晴れ E区 時刻: 8:45 ~ 8:50 天候: 晴れ	A→C→D→E	A-2 : 5個 / 10.3 kg C-3 : 5個 / 10.7 kg D-2 : 5個 / 11.1 kg E-3 : 5個 / 11.0 kg	7月28日
8月4日	A-3	B		D-3				B区 時刻: 7:10 ~ 7:13 天候: 晴れ A区 時刻: 7:17 ~ 7:19 天候: 晴れ D区 時刻: 7:30 ~ 7:33 天候: 晴れ	B→A→D	B : 5個 / 11.1 kg A-3 : 5個 / 11.0 kg D-3 : 5個 / 11.1 kg	8月4日

区 分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
H26年7月18日	1. 試料の大きさは(やや大きい○)通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い○)通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
7月22日	1. 試料の大きさは(やや大きい○)通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い○)通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
7月24日	1. 試料の大きさは(やや大きい○)通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い○)通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
7月28日	1. 試料の大きさは(やや大きい○)通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い○)通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
8月4日	1. 試料の大きさは(やや大きい○)通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い○)通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

- (1) 試料採取方法

使用した器具(機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

各区、試験区境界部(南北)の株を除き、全体から大きさの揃った試料を鉗を用いて採取した。
- (2) 採取後の調製・梱包方法

試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱穀・粉すり等の方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

採取した試料は、その都度清浄なプラスチック製のかごに入れた(試験区ラベル同梱)。梱包は行わなかった。
- (3) 試料送付先

分析機関: 一般社団法人日本植物防疫協会 茨城研究所
- (4) 試料の輸送方法

到着日指定、温度指定、
輸送会社等

試料をかごに入れた状態で、分析担当者に手渡した。
- (5) 備考

採取時は、清浄な手袋を装着して作業を行った。なお、手袋と鉗は試験区毎に交換した。

試験期間中の気象

観測地点および試料調製場所: 茨城県牛久市結束町535番地 一般社団法人日本植物防疫協会茨城研究所(ガラスハウス)

観測条件: 気温:平均気温(1 時間毎)

(26年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
6	施設内気温(℃)																26.9	26.3	23.6	26.1	25.8	26.0	22.6	24.9	23.1	23.5	24.4	25.4	25.0	25.6	25.5	
7	施設内気温(℃)	27.1	26.8	25.9	23.0	23.1	25.7	23.3	29.8	24.3	26.9	29.7	30.1	26.2	29.1	29.9	29.1	27.1	25.2	24.1	25.4	26.0	29.6	30.4	30.3	32.0	32.7	31.3	28.3	28.9	30.1	31.3
8	施設内気温(℃)	31.6	33.4	32.5	31.9																											

別紙1. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

薬剤処理区

まくわうり:

平成25年 5月 2日 ベースガード 粒剤2g/株植穴土壌混和
 5月21日 サンヨール500倍・ジマンタ イソ水和剤500倍・アトマイヤー 顆粒水和剤5000倍
 5月27日 粘着くん液剤100倍・ゴッツA500倍・モレスタン水和剤2000倍
 6月 5日 タニコール1000 1000倍・アトマイヤー 顆粒水和剤5000倍・ベースガード 水溶剤1000倍
 6月13日 モレスタン水和剤2000倍
 6月24日 フルビカフロアブル2000倍
 6月27日 サンヨール500倍・パンチョTF 顆粒水和剤2000倍
 7月8日, 7月15日 モスビラン水溶剤4000倍

無栽培:

こまつな:

平成25年 8月22日 テロン 20L/10a 全面土壌点注処理
 平成25年10月 1日 オラクル 顆粒水和剤200倍500ml/セルトレイ灌注・オラクル粉剤30kg/10a全面土壌混和
 10月 2日 ベンレート水和剤1000倍
 10月 5日 アファーム乳剤2000倍
 10月 7日 ラービ ンベイト2 4kg/10a全面散布
 10月7日, 10月14日, 10月20日 ライメイフロアブル2000倍
 10月15日 アクタラ 顆粒水溶剤2000倍・アファーム乳剤2000倍・タニコール1000 1000倍
 10月29日 アトマイヤーフロアブル4000倍・ストロビ ーフロアブル3000倍・トレホン乳剤2000倍
 11月18日 アファーム乳剤2000倍

チンゲンサイ:

平成25年10月2日 ガートベイトA 3ka/10a
 10月5日, 10月16日, 10月22日, 11月18日 アファーム乳剤2000倍

無栽培:

平成26年 4月 2日 ソリロン 30L/10a 全面土壌点注処理

別紙2. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

無処理区

かぼちゃ:

平成25年 5月 7日	モレスタン水和剤3000倍
5月10日, 5月22日	ゴッツA 500倍
5月15日	モスビラン顆粒水溶剤2000倍
5月28日	ハチハチ乳剤2000倍・ゴッツA 500倍
5月31日	アファーム乳剤2000倍
6月 5日	ベストガード水溶剤1000倍・ゴッツA 500倍
6月11日	ハチハチ乳剤2000倍
6月17日	モレスタン水和剤2000倍
7月1日, 7月8日, 7月15日	トレボン乳剤1000倍
7月 2日	トリフミン水和剤4000倍
7月 5日	サンマイフロアブル1000倍・モレスタン水和剤2000倍
7月12日	モレスタン水和剤2000倍・アファーム乳剤2000倍
7月22日	アファーム乳剤2000倍・サンマイフロアブル1000倍

無栽培:

ペパーミント:

平成25年 8月22日	テロン 20L/10a 全面点注
平成25年10月29日	フェニックス顆粒水和剤2000倍・ジマンタイセン水和剤800倍
11月18日	アミスター20フロアブル3000倍・アトマイヤー顆粒水和剤10000倍・トリフミン水和剤3000倍
11月26日	リゾレックス水和剤1000倍・スターナ水和剤2000倍
12月24日, 平成26年1月7日, 1月16日, 1月22日	ロフラル水和剤1000倍・2000倍

みつば:

平成25年10月29日	リゾレックス水和剤500倍
12月 2日	スターナ水和剤2000倍
12月13日	ロフラル水和剤1000倍
12月26日	トップシンM水和剤2000倍
12月31日	ロフラル水和剤1000倍
平成26年 1月17日	スミフレンド水和剤2000倍・アミスター20フロアブル2000倍
1月24日, 1月31日	タコニール1000 1000倍
2月 6日	ロフラル水和剤1000倍
2月18日	アトマイヤー顆粒水和剤10000倍

無栽培:

平成26年 4月 2日	ソリロン 30L/10a 土壌点注
-------------	-------------------

写真1. 試験区ハウス全景



写真2. 初回散布時の草勢（6月16日）



写真3. 飛散防止用遮蔽幕（写真右側無処理区）



写真4. 薬剤処理区間の遮蔽幕



写真5. 無処理区



写真6. 散布状況



写真7. A区1回目散布時の株の状況



写真8. A区1回目散布時の果実



写真9. A区2回目散布時の株の状況



写真10. A区2回目散布時の果実



写真11. A区3回目散布時の株の状況



写真12. A区3回目散布時の果実



写真13. A区4回目散布時の株の状況



写真14. A区4回目散布時の果実



写真15. A区5回目散布時の株の状況



写真16. A区5回目散布時の果実



写真17. B区1回目散布時の株の状況



写真18. B区1回目散布時の果実



写真19. B区2回目散布時の株の状況



写真20. B区2回目散布時の果実



写真21. B区3回目散布時の株の状況



写真22. B区3回目散布時の果実



写真23. B区4回目散布時の株の状況



写真24. B区4回目散布時の果実



写真25. B区5回目散布時の株の状況



写真26. B区5回目散布時の果実



写真27. C区1回目散布時の株の状況



写真28. C区1回目散布時の果実



写真29. C区2回目散布時の株の状況



写真30. C区2回目散布時の果実



写真31. C区3回目散布時の株の状況



写真32. C区3回目散布時の果実



写真33. C区4回目散布時の株の状況



写真34. C区4回目散布時の果実



写真35. D区1回目散布時の株の状況



写真36. D区1回目散布時の果実



写真37. D区2回目散布時の株の状況



写真38. D区2回目散布時の果実



写真39. D区3回目散布時の株の状況



写真40. D区3回目散布時の果実



写真41. D区4回目散布時の株の状況



写真42. D区4回目散布時の果実



写真43. E区1回目散布時の株の状況



写真44. E区1回目散布時の果実



写真45. E区2回目散布時の株の状況



写真46. E区2回目散布時の果実



写真47. E区3回目散布時の株の状況



写真48. E区3回目散布時の果実



写真49. E区4回目散布時の株の状況



写真50. E区4回目散布時の果実



写真51. E区5回目散布時の株の状況



写真52. E区5回目散布時の果実



写真53. 採取状況



写真54. A-1の大きさ



写真55. A-2の大きさ



写真56. A-3の大きさ



写真57. Bの大きさ



写真58. C-1の大きさ



写真59. C-2の大きさ



写真60. C-3の大きさ



写真61. D-1の大きさ



写真62. D-2の大きさ



写真63. D-3の大きさ



写真64. E-1の大きさ



写真65. E-2の大きさ



写真66. E-3の大きさ



写真67. Fの大きさ



写真68. 分析担当者への輸送時の状態

